

# 二見道

## 二見道の概要

二見は、倭姫命やましひめのみことが天照大神のご鎮座される地を求めて伊勢の海辺を歩かれた折、この浦の素晴らしさに二度振り返られた伝説からその地名が付いたともいわれる景勝の地。遠浅の白砂青松の浜は、明治初期まで神宮に参る参拝者が禊をした清浄で神聖な場所だった。明治時代までは神宮の御塩と御贄を調達するための神宮領で、今日も神宮の御塩や御料の調達地として、御塩殿神社の隣に建つ御塩殿で作られた昔ながらの堅塩が外宮まで運ばれる。

伊勢から二見へ向かう間にある河崎は、市の中央を流れる勢田川沿いに古い蔵が軒を連ねる昔の間屋街。かつて三河や駿河からの神宮参拝客や全国から集められた食材は、勢田川を船でさかのぼり河崎に至った。河崎は「山田（今の伊勢市）の台所」と呼ばれ、神宮のまちの発展とともに栄えたが、明治後半以降は鉄道や自動車の普及による流通の変化に対応できなくなり徐々に衰退した。しかし、そのため、

かつて「切妻妻入」の重厚な商家の町並みが残り、歴史情緒が漂うまちとなっている。

河崎を出てしばらく歩くと、勢田川沿いに天正3年（1575）創業の角屋がある。かつて三河や駿河方面から船で神宮に参宮した人々がここで船を下り、一息いれて神宮へ向かったという二軒茶屋があったところで、現在も二軒茶屋餅を販売している。

さらに二見へ向かう道は五十鈴川をわたり、終着点の二見興玉神社へと続く。

二見興玉神社は縁結びの神様として知られ、夫婦岩の大注連縄の張替えは室町時代からの伝統がある。かつては修学旅行や新婚旅行のメッカで、門前の茶屋町は木造の旅館や土産物店が軒を連ねており、現在もシーズンにはたくさんの観光客で賑わう。





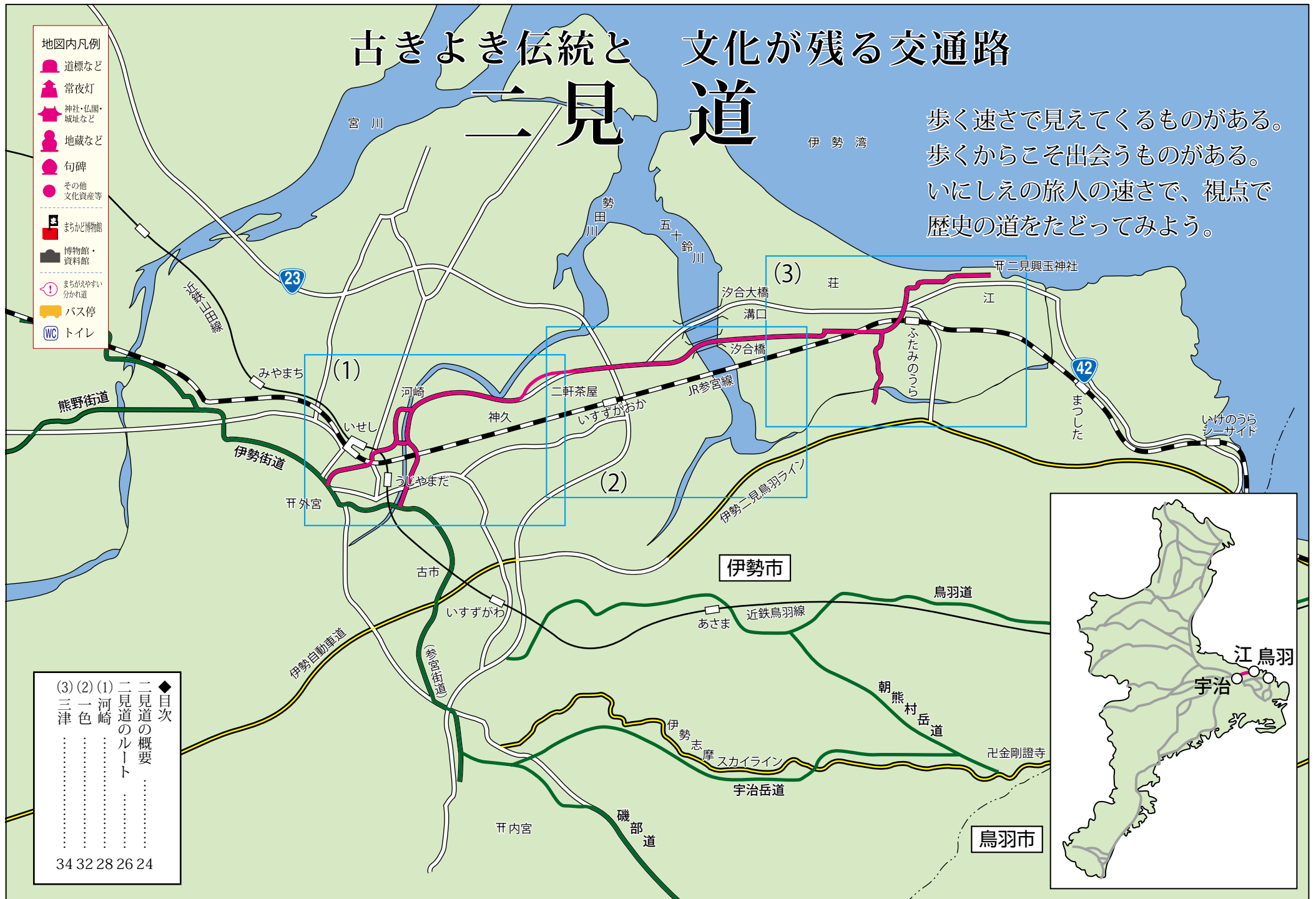
# 古きよき伝統と文化が残る交通路

## 二見道

歩く速さで見えてくるものがある。  
歩くからこそ出会うものがある。  
いにしへの旅人の速さで、視点で  
歴史の道をたどってみよう。

### 地図内凡例

-  道標など
-  常夜灯
-  神社・仏閣・城址など
-  地蔵など
-  句碑
-  その他文化資産等
-  まちかど博物館
-  博物館・資料館
-  まちがえやすい分かれ道
-  バス停
-  トイレ



| ◆ 目次           |
|----------------|
| 二見道の概要         |
| 二見道のルート        |
| (1) 河崎         |
| (2) 一色         |
| (3) 三津         |
| 34 32 28 26 24 |



# (1)河崎・A (伊勢市岩淵～黒瀬町)

この部分は  
30・31 ページを  
ご覧ください



8 松尾芭蕉句碑



9 松尾芭蕉句碑



10 為田華明句碑



11 近鉄宇治山田駅本屋  
国登録有形文化財



1 月夜見宮  
神宮125社



2 高河原神社  
神宮125社



3 ボンヴィヴァン



7 度会大國玉比賣神社  
神宮125社



5 伊我理神社  
6 井中神社  
神宮125社

切妻妻入の  
重厚な家が建  
ち並ぶ。



伊勢市駅



4 長谷川素逝・長谷川ふみ子句碑



29 三浦橋良(みうらちよ)句碑



27 尾部坂  
「間の山(あいのやま)」ともいう。このあたりに、三味線や胡弓をかき鳴らし、旅人に投銭を乞うことで有名な芸人、おすぎ・お玉がいた。その場所を示す標柱が立っている。



18 稻荷神社



19 円満地藏



20 汐湯・おかけ風呂館 旭湯



21 宇治道慈悲地蔵



22 寝起松神社



23 小田橋  
江戸時代までは、本橋の横に小橋(仮屋橋)が架けられており、忌服の人や生理中の婦人は小橋を通ることになっていたという。



24 簀子橋



25 道標  
弘化4年(1847)建立。貴子橋から橋詰公園内に移設。「すぐ御さんぐう道」と刻まれている。



28 鴈字亭寸童句碑



16 常夜燈



17 庚申祠

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地蔵など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちが交差点の分かれ道
  - バス停
  - トイレ



# (1)河崎・B (伊勢市岩淵～黒瀬町)



1 河原淵神社  
神宮125社



2 岩田提灯店



3 茶房 河崎蔵



4 河辺七種神社  
元河崎神社とも呼ばれていた。



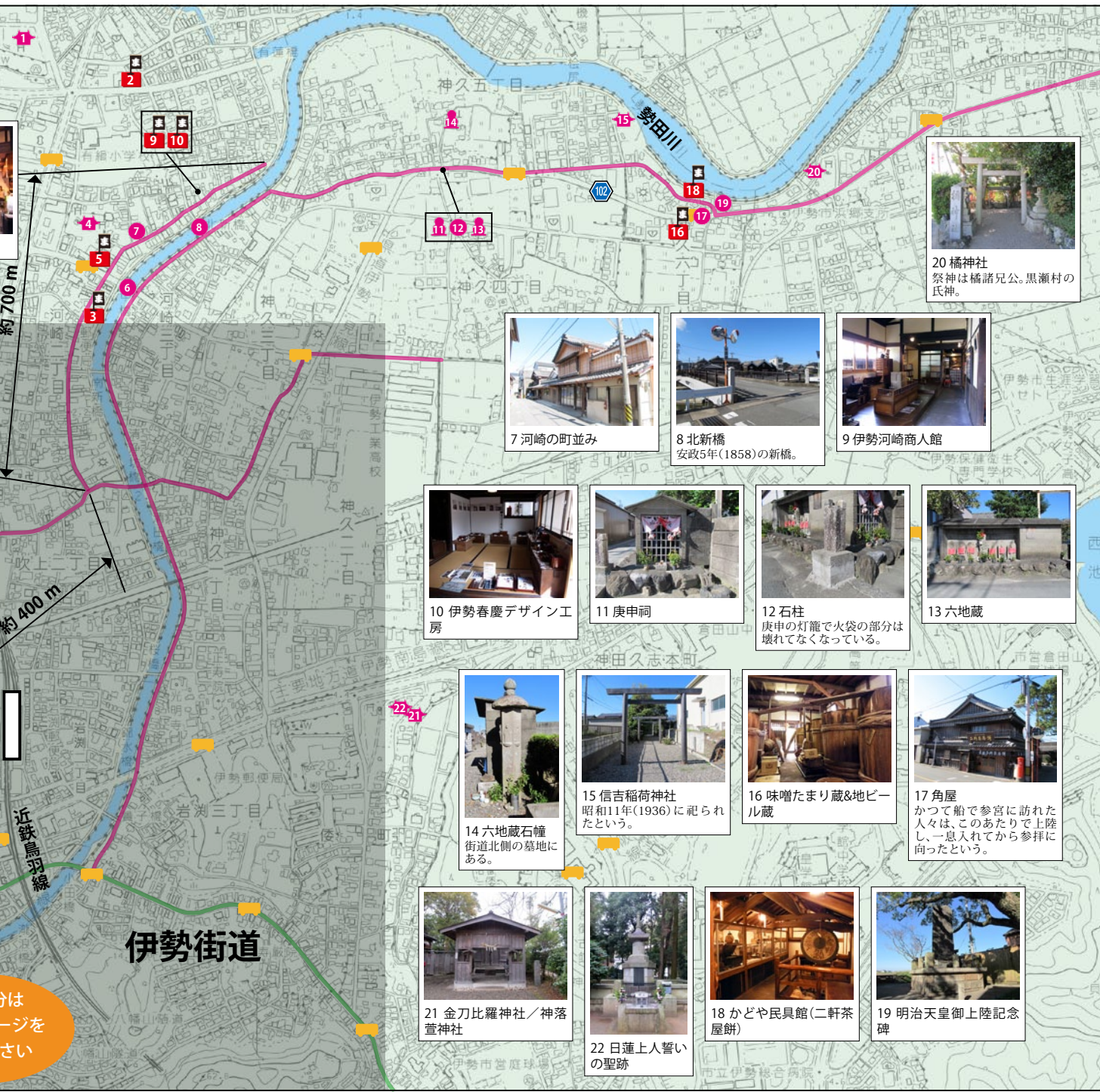
5 和具屋



6 中橋 (河崎大橋)

- 地図内凡例
- 道標など
  - 常夜灯
  - 神社・仏閣・城址など
  - 地藏など
  - 句碑
  - その他文化資産等
  - まちかど博物館
  - 博物館・資料館
  - まちがえやすい分かれ道
  - バス停
  - トイレ

この部分は  
28・29 ページを  
ご覧ください



20 橋神社  
祭神は橘諸兄公。黒瀬村の氏神。



7 河崎の町並み



8 北新橋  
安政5年(1858)の新橋。



9 伊勢河崎商人館



10 伊勢春慶デザイン工房



11 庚申祠



12 石柱  
庚申の灯籠で火袋の部分は壊れてなくなっている。



13 六地藏



14 六地藏石幢  
街道北側の墓地にある。



15 信吉稲荷神社  
昭和11年(1936)に祀られたという。



16 味噌たまり蔵&地ビール蔵



17 角屋  
かつて船で参宮に訪れた人々は、このあたりで上陸し、一息入れてから参拝に向かったという。



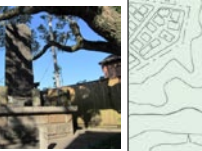
21 金刀比羅神社／神落萱神社



22 日蓮上人誓いの聖跡



18 かどや民具館(二軒茶屋餅)

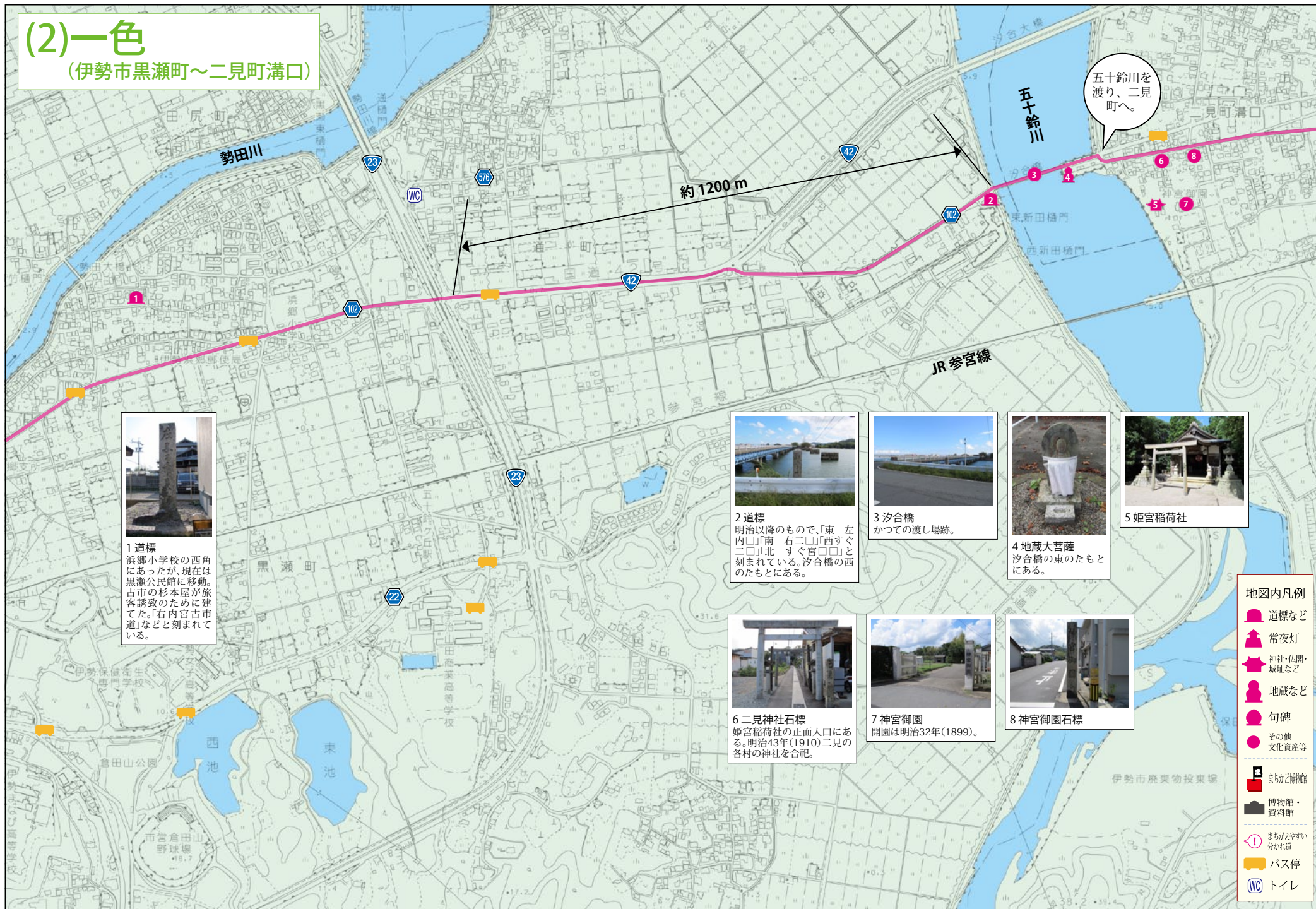


19 明治天皇御上陸記念碑



## (2)一色

(伊勢市黒瀬町～二見町溝口)





### (3)三津・A (伊勢市二見町溝口～江)



2 明星寺前の地藏



4 六地藏堂



3 明星寺  
国指定重要文化財の木造薬師如来坐像が安置されている。



5 自然石の庚申7基  
三津消防団車庫の隣り。ここは昔の高札場であった。



6 地藏  
文禄3年(1594)のもの。もと阿弥陀寺であるコミュニティセンターにある。北側の地藏は二見で一番古い。



7 天狗岩  
天狗が山から投げたといわれる岩。



8 引舟橋  
かつては三津浜の繰り舟の渡し場であった。



1 密蔵寺跡  
南方の田を隔てた竹藪。

#### 地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地藏など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

二見浦の美しい海岸を見渡せる。

旅館や土産店が建ち並ぶ。

この部分は  
34・35ページを  
ご覧ください

伊勢二見鳥羽ライン



### (3)三津・B

(伊勢市二見町溝口～江)

#### 御塩道

二見浦で作られた塩は、天照大神が伊勢に鎮座された昔から神宮に供進されてきた。伊勢神宮で神事に用いられる塩は「御塩」と呼ばれ、御塩浜で汲まれた海潮を昔ながらの製法で荒塩に焼き、さらに御塩殿神社で堅塩に焼き固められる。これを御塩殿神社から神宮外宮まで二里（約8キロ）、戦後しばらくして車が用いられるまでは歩いて運んでいた。清浄な御塩を運ぶ道とあって葬式の行列など不浄が通らぬ田の畦道などを通り、「御塩道」と呼ばれていた。



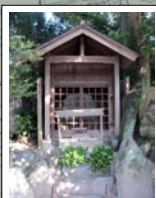
1 御塩殿神社  
道標、年代不詳、荘公民館に存在。自然石に「左 御塩神社 二見の浦」。神宮125社。



2 坪田家雄句碑



3 庚申



4 庚申塚の亀甲地蔵  
元は小川の橋石で、亀の甲のような模様がある。



5 庚申塚



6 堅田神社  
神宮125社



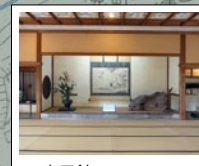
7 松林・清渚



8 二見の町並み  
昔ながらのノスタルジックな町並みを散策できる。



9 夫婦岩表参道



14 寶日館



15 音無山



16 岩戸の塩工房



17 山口誓子句碑



10 橋本鶏二句碑



11 旅館街  
旅館や土産物店が並び、週末や観光シーズンには大勢の観光客で賑わう。



12 松尾芭蕉句碑



13 松島十湖句碑



18 二見興玉神社  
縁結び・夫婦円満・交通安全の神様である猿田彦大神を祀る。夫婦岩を拝することができる。



19 夫婦岩  
毎年5・9・12月には大注連縄張神事が行われる。



20 阿波野青歌句碑

#### 地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

この部分は  
34・35 ページを  
ご覧ください

伊勢二見鳥羽ライン